

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

爽健の家

グループの名称

北陸家づくりの会

直近採択グループ番号

06-0372-0344

(グループ代表者)

代表者名

塚本 豊

代表者印

代表者所属先

株式会社 サンエス

代表者所在地

石川県金沢市進和町64番地

代表者電話番号

076-291-7701

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 サンエス

事務局担当者名

田村 尚之

印

事務局郵便番号

921-8006

事務局所在地

石川県金沢市進和町64番地

事務局電話番号

076-291-7701

事務局FAX

076-291-8017

事務局担当者E-mail

n-tamura@san-esu.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	爽健の家
2. グループの名称(必須)	北陸家づくりの会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0372-0344
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	石川、富山、福井
5. 結成年(必須)	2013 年
6. グループ代表者名(必須)	塚本 豊
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 サンエス
8. グループ代表者所在地(必須)	石川県金沢市進和町64番地
9. グループ代表者電話番号(必須)	076-291-7701
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社 サンエス
11. グループ事務局担当者名(必須)	田村 尚之
12. グループ事務局郵便番号(必須)	921-8006
13. グループ事務局所在地(必須)	石川県金沢市進和町64番地
14. グループ事務局電話番号(必須)	076-291-7701
15. グループ事務局FAX番号(必須)	076-291-8017
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	n-tamura@san-esu.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	13	原木供給事業者が海外事業者であるため
II. 製材・集成材製造・合板製造	18	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	16	
IV. プレカット	17	
V. 設計	8	
VI. 施工	29	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPIC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸		
		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸			
性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸				
未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸					
		上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		10	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸				
未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		8	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸					
		上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸					
	その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		8	戸					
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m <sup>2</sup>			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	<p>施工店にエントリーシートを記入頂き、期日に抽選を行い当選者を発表する。 多くの施工店に均等に分配出来る配慮と考える。</p>								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	3	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>爽健の家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>石川、富山、福井</b>
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) <b>北陸家づくりの会</b>	(結成年) <b>2013 年</b>
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	<b>06-0372-0344</b>	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	湿度の多いこの地域にとっては、まず開口部の割合を大きくし四季折々の爽やかな風を取り込む家づくりを重視する。 居室床面積5%以上の開口を確保する。 の積雪に耐える強度を保つ為、通し柱は4寸とする。 機器は高効率商品を推奨する。 電システムの活用を奨め、陸屋根は不可とする。	冬 設備 太陽光発 ◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	湿気に強くするため、壁、天井及び床に調湿素材を6㎡以上使用し対策を講じる。 省エネ、高性能省エネ機器の使用を推奨する。 »の要素を重視し量及び置き量を積極的に提案する。 気工法とする。 見える化»のため、全棟にHEMSを推奨する。	◀和 外壁は通 消費電力の◀ ○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	各世代が安心、安全に暮らす事が出来るように配慮する。具体的にはトイレに手すりを設置する。 水をタンクに溜め、打ち水や庭木の散水に利用する。水のリサイクルや災害時にも対応出来る。 »を積極的に取り入れる。量の活用を推奨する。 発電システムの活用を推奨する。	雨 ◀和 太陽光 ○
④①～③の背景	年間降水量、年間雨日数が多く、平均湿度も70%と多湿型気候の地域である。 年齢との同居比率が多いのが特徴であり持家、特に木造住宅の志向が強い。 地域の特性への対応を前提として上記の取り組みを積極的に行う。 雪、積雪に耐える頑丈で丈夫な家づくりを目指す。	高 この 冬の降 ◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロ・エネルギー住宅以外の住宅であっても太陽光発電システム、蓄電池、HEMSなどを積極的に提案する。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 基礎幅150mm以上、床下通気に配慮し基礎高を地盤面から基礎先端まで400mm以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 積雪に耐える丈夫な家とする為、耐震等級2以上とする。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 通し柱は4寸とする。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 安定供給とコスト面を抑える。強度・品質・性能が判断出来る事を考慮し、部位に応じて適切な材を使用する事によって合理化を計る。	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 推奨品数を拡大し、建材流通業者・メーカーと協議しスムーズな資材調達に努める。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 未経験者の施工業者に対しては勉強会を兼ねた現場見学会を実施する。その際には施工実績のある施工業者の協力を得てまたメーカー及び有識者を交えて行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 情報の発信を常に心がけ実施する。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 設計図書、長期優良住宅適合書の有効活用。勉強会を兼ねた現場見学会の実施。未経験の施工業者を対象としたゼロ・エネルギー住宅の勉強会。未グループからの情報を提供。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: グループの共通ルールをチェックシートにて確認する。水タンクは設置されているか、調湿素材は6㎡以上使用しているか、トイレには手すりを取り付けられているかそれぞれ確認する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 施工業者が施工に工事内容や見積り価格内容を詳しく説明する。屋根工事一式等見積りが多いので数量、単価を明確にし見積り書に記載する。提出後はチェックシートにて確認する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: お客様と取り決めた期日(見積り等)を確実に守り、スピードある対応を心がける。国策に対しての情報を積極的に発信する為勉強会を開催しアドバイスを行う。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 営業、事務、配送が丸となって効率化を計っている。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 新入社員に対し教育を徹底させ、社員の公正化に取り組んでいる。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 工事の職人等、保険の必要性を問うている。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 無事故の連日記録を事務所内に掲示、健康診断の毎年受診の徹底。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	メーカー・ショールームを活用し個展を開催する。 光発電システム、高効率省エネ商品を展示し実際に目で見て手で触れられる機会を作る。 業者、施主様を対象とした商談会の場を設ける。 年2回を予定。	太陽 施工事 個展開催は ◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 爽健の家	(地域型住宅供給対象地域) 石川、富山、福井	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 北陸家づくりの会	(結成年) 2013 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0372-0344		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の住宅履歴情報サービスを推奨する。	○
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者の住宅履歴サービス機関で管理を行う。	○
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の住宅履歴情報サービスにて診断・点検・管理を行う。	○
	② メンテナンス基準		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会則に基づき、構成員に周知徹底させる。	○
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックリストによる確認。	○
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 外壁においてはコーキングの亀裂及びクラックを目視により確認する。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年2回、相談会を開催する。	◎
③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各メーカーのショールームを活用し情報を発信する。	◎	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主向けの現場見学会を行い商談の場を提供する。	○	
④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的に会合を開き委員会を設置する。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 会員からの問題提起を促し改善、改革を図る。	○	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 日頃からネットワークを広げ構成員の入替へに対応する。	○
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造に対する不備が起きた時は速やかに報告し是正する。再発防止を会員に通達する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ショールームでの商談会ではアンケート用紙を渡し、その場で記入してもらう。 施工事業者及び施主の意見を取り入れ、今後の課題と改善に活用する。		◎
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期的な研修会の開催。	○
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 着工中の現場、完成後の現場見学会及び勉強会の開催。	○
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: チェックシートによる確認を実施。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 商談会、勉強会を開催。各分野の専門家が講師を行い改善、改革する。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術向上のため会員間での情報交換を行い取り入れる。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: プレカット業者、大工に関しては現場での端材、廃材の削減。納入業者は納材回数の削減。	○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 30 今年度の参加目標人数 30
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 30 今年度の参加目標人数 30	○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 講習会の案内を数か月先までスケジュールを決め随時案内する。	○
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光発電システムの提案。蓄電、HEMS、高効率省エネルギー機器の導入。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽光発電システムのシミュレーションを行い、施主に提案する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	勉強会、研修会ではメーカーと協業し、有識者の講演会等も実施する。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 爽健の家	(地域型住宅供給対象地域) 石川、富山、福井
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 北陸家づくりの会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0372-0344	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール (必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合 (必須)	○
	③ 標準的な地域材の使用部位 (必須)	○
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 畳の活用	○
	①-2 和瓦の活用	○
	①-3 襖の活用	○
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 爽健の家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 石川、富山、福井
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 北陸家づくりの会	<small>(結成年)</small> 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0372-0344	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴		
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。		
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
年間を通じた気温差が大きく、相対湿度も非常に高い北陸地方 石川県、富山県の気候風土を考慮した木造住宅。 ①地域の大半が日射区分A2であり、一年を通じて日射が少ないため、夏季・冬季ともに断熱材による保温・保冷性能の強化を重視。 ②夏季の日射侵入に伴う室内温度上昇への対策として、開口部は通風を確保する。更に夏季の日射侵入を出来るだけ減らすための構造の検討を重視。 ③設備機器については、省エネルギー設備機器の導入により、住宅内のCO2の削減を重視。 ④長期に渡る維持管理を考慮した太陽光発電システムの採用により、一次消費エネルギーの削減を行う。 ⑤地域の伝統・文化を尊重し、街並みに配慮した景観を重視する。 ⑥地域住宅のデザインを十分考慮するとともに、和を取り入れた畳敷(置き畳含む)、塗り壁を積極的に提案し取り入れる。 ⑦2世帯同居が多いこの地域では高齢者に配慮し手すりを積極的に設置する。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。